

糖尿病合併症に注目される

丹参(タンジン)製剤

増加する糖尿病患者

現在、糖尿病患者は八九〇万人、予備軍を含めると二、二一〇万人といわれ、それに伴い糖尿病の三大合併症（糖尿病性腎症、糖尿病性神経障害、糖尿病性網膜症）は増加の一途で、いずれも毛細血管の障害から起こるものです。透析導入患者の原疾患の四〇％が糖尿病性腎症といわれるように、糖尿病の本当の怖さは合併症にあり、その対策が急務となっています。

糖尿病はAGEの

コントロールが大切

糖尿病の初期の頃には自覚症状はありませんが高血糖状態が続くと毛細血管の流れがだんだん悪くなり、最終的には合併症を発生することになります。全身に栄養分や酸素を運ぶ重要な役割をするのが血管ですが高血糖状態で過剰な糖が存在すると終末糖化産物（AGE）を生成し弾力性を失うこととなります。その結果、毛細血管はつまったり切れやすくなってしまいます。従って合併症を予防するにはAGEを増加させないことが大切になります。また、合

併症の発症・悪化には活性酸素が影響を与えていることも最新の研究でわかってきています。活性酸素は老化や酸化ストレス障害の原因の一つですが、糖尿病モデル動物を用いた研究の結果、丹参製剤にはこの活性酸素を直接抑える働きや抗酸化力を高める作用、さらに高血糖状態において産生するAGEを顕著に抑える作用を証明しました。この画期的な効果をまとめて「糖尿病の改善薬」として特許を取得しています。

肝臓にも期待大の丹参製剤

さらに今後見ていきたい器官の一つに肝臓があります。体の中で血流量が特に多い器官が肝臓・腎臓・脳の三つで、肝臓には全体の二七、八％の血液が流れています（腎臓は二三、三％、脳は一一、九％）。肝臓は糖尿病と深く関わりがあり、アルコールの分解や解毒などの他にエネルギーの貯蔵物質であるグリコーゲンを作って貯蔵し、必要に応じて分解して血液中に送り出し、糖分を調整する作用（糖代謝）があります。高血糖が続くと肝臓の糖代謝が障害されるために肝臓は大きく傷害を受けます。丹参製剤で肝臓の血流を良くすることがこの傷害を改善することになります。

最後になります。一度人工透析治療を受け始めると透析治療から脱却することは不可能です。合併症を予防し悪化を抑えることができる丹参製剤の存在は大いなる朗報といえます。

丹参製剤
イスクラ産業「冠元顆粒」
二一包入り 三、四二九円十税
四五包入り 六、七〇〇円十税
九〇包入り 一二、六二〇円十税



「冠元顆粒」についての相談・質問は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております。

「健康的にダイエット！」なら「マイクロダイエット」をお試ください

マイクロダイエット正規取扱店 **ゆがの薬局**

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>

